

第4回 嘉麻市行政経営推進審議会 会議録

1. 審議会等の名称 令和元年度 第4回嘉麻市行政経営推進審議会
2. 開催日時 令和元年10月24日(木) 14:00～15:12
3. 開催場所 嘉麻市役所確井庁舎2階 会議室2
4. 公開又は非公開の別 公開
5. 非公開の理由 (会議を非公開とした場合のみ)

6. 出席者

(1) 委員

山崎克明委員、松岡光昭委員、吉岡滋樹委員、村上曙生委員、川原幸二委員、西村光昭委員、
富崎静江委員、松田クニ子委員

*欠席委員4名 吉安勝行委員、大熊孝二委員、大森成順委員、上野美智子委員、

(2) 執行機関

企画財政課長 大村輝生、企画財政課長補佐 廣谷友紀、
行政改革推進係長 田中ひふみ、行政改革推進係 和多美幸

7. 傍聴人数 (会議を公開した場合のみ) 0人

8. 議題及び審議の内容

【議題】

- (1) 第1次行政改革及び第2次行政改革の総括について
- (2) 答申書(案)について(審議)

【審議の内容】

(1) 第1次行政改革及び第2次行政改革の総括について

資料1に沿って、第1次行政改革及び第2次行政改革の総括について説明を行った。(事務局)

説明を受け、次のような質問及び意見が出た。(委員)

- ・市としての評価は、どんなものか。

→第1次行政改革については、財政再建団体にならないため、合併後すぐに開始した。効果額の半分は職員人件費の削減であり、合併効果として当然の効果であろうと考えている。しかし、この当時は、市として緊張感があり、嘉麻市として市民の意識をどう醸成するかが問題だった。

第2次行政改革については、やれることは第1次行政改革でやり尽くしており、第1次行政改革と同様に、職員人件費の削減が主なものであった。

それを経て、第3次行政改革に取り組んでいるが、職員人件費削減を担保する取組として、業務委託を中心に市役所の仕事をスリムにしていく内容となっている。行政改革推進審議会の後押しをいただいた、新庁舎建設の効果が出るのはこれからであり、行政改革の必要性を職員にあらためて徹底する必要があると考える。

- ・職員削減については、努力されている。
 - ・職員を削減して、福祉サービスは行き届くのか不安である。
- 行政サービスは維持し、目に見えない間接コストを減らしていく見込みである。民間が、どこまで行政サービスを担えるのかがポイントとなる。
- ・高齢者の福祉サービスは、行政ではなく、民間や地域で担っていくべきである。そのため、地域の力をつけていく必要があり、また、社会福祉協議会の強化を図っていく必要がある。

(2) 答申書(案)について(審議)

資料1に沿って、答申書(案)についての説明を行った。(事務局)

説明を受け、審議を行い、次のような質問及び意見が出た。

答申書(案)を持ち帰り、内容を確認した上で、次回審議会で審議を行うこととした。

9. 配布資料

令和元年度第4回嘉麻市行政経営推進審議会次第

資料1 第1次行政改革及び第2次行政改革の総括

答申書(案)